

#### 4 「初発の感想」を次の学習に生かしましょう

教科書会社のホームページや指導書には、「初発の感想」を述べる学習活動例が多く示されています。何のために児童に感想を聞くのでしょうか。また、聞いた感想は、どのように生かすとよいのでしょうか。次に、「動物の体」（東京書籍5年上）の場合を例にして、その工夫を図った例を紹介します。

##### 「動物の体」（東京書籍5年上・8時間扱い）の学習活動例

\*ねらい：文章の仕組みを考えて、書かれていることを読み取る。

- 1 「動物の体」を通読して書かれている内容の大体をとらえ、初発の感想を伝え合う。（1時間）
- 2 文章の仕組みに注意しながら書かれている内容を読み取り、要旨をとらえて筆者の考えについて自分の意見をもつ。（5時間扱い）
- 3 動物や自然環境について書かれた他の本や文章を読む。（2時間扱い）

「次の学習」への期待感を高めるために「問い返す」ことが大切です

この学習活動例では、初発の感想を伝え合うことで、「文章の仕組みを考えて、書かれていることを読み取る」というねらいや、内容を読み取り、「要旨をとらえて筆者の考えについて自分の意見をもつ」ことにつながるようにすることが望まれます。

そのためには、児童に感想を述べさせるだけではなく、「次の学習活動」につながるように「問い返す」ことが大切です。次にその例を紹介します。

##### 「動物の体」（東京書籍5年上）で「初発の感想」を伝え合う例

A ぼくは、ラクダのことにきょうみをもちました。今までは、ラクダのこぶにえいようがあるから長い旅ができるだと思っていたのですが、いろんな体の仕組みがあるのだと思いました。

T ほんと、すごい仕組みのようですね。Aさんが言ったこと、それは、何ページあたりに書いてあったの？

A えっと、40ページと41ページです。あ、42ページもです。

T ずいぶん長いですね。

B ラクダの話が一番長いんじゃないかな。

T そうですか。みんなで、動物のお話ごとに、区切りを考えてごらん下さい。段落に番号を付けてね。

B やっぱラクダの話が一番長くて、第 段落から第 段落まで、7段落ありました。

\_\_線部のように問い返すことで、感想の根拠となる文章表現に着目させようとしています。

お話がいくつから構成されているか、考えさせようとしています。

T そのとおり。では、一番短かったのは？

C ゾウとキリンかな。

D キツネじゃないの？いや、シカかな？

T さて、どうかな？そのことは、次の時間から、段落ごとの内容を表にしてまとめながら詳しく読み取りますから、そのときのお楽しみにしましょうね。ところで、このお話をいくつかのまとまりに分けるとすると、いくつぐらいになると思う？自由に言ってごらん下さい。（児童の声「10ぐらい。」「五つぐらい。」など。）実は、「てびき」に答えが書いてあるのよね。見てみようか。そう、全部で六つなんですね。どんな区切り方をすればいいのかな。楽しみです。では、ほかに、感想を聞かせてください。

F わたしは、ゾウは暑い所にすんでいるのに体が大きいということにきょうみをもちました。今は絶めつしてしまっただけけれど、マンモスは寒い地方にいたから、その生き残りが今のゾウなのかなとも思いました。

T おもしろいことに気づいたね。実は、マンモスの本が図書室に何冊かあるんだけど、Fさん知っているかな？この学習の終わりごろにね、いろんな動物の本を紹介し合うようにしたいのですが、それまでにFさんはマンモスの本を探して、できれば読んでおいてもらえるといいですね。

問い返しをきっかけに、児童に考えさせながら、次時以降の学習活動2の内容を予告したり、学習への期待感を高めたりしています。

線部のように問うことで、自発的な学習を促そうとしています。

学習活動3に入るまでに、児童が自主的に動物の本を探して読むように示唆しています。

## ワンステップアップ

このように、「初発の感想」は、児童がこれからの学習がどのようなものかを理解するとともに、それに期待をもって臨めるようにするために述べさせたいものです。

友達の感想を聞きながら、「ほんとうにそうだな。」と改めて思ったところの線に色を付けさせたり、「こんなことを私は思った」などの書き込みをさせたりしていくことも、考える力や書く力を育てるうえで効果的です。

## あらすじを述べる

「初発の感想」ではなく、初読の段階に、「あらすじを述べる」学習活動が設定されている計画も少なくありません。

「あらすじを述べる」ことは、文章の内容のあらましをとらえ、人物の関係や話の展開を大づかみでとらえる学習訓練として有効です。

また、あらすじを述べさせる発問としては、「いつ、だれが、どこで、どうしたお話ですか。」という内容のあらましを問うほかに、次のような例もあります。

一番心を強くひかれたのはどの場面ですか。その場面の様子と、心をひかれた理由をノートに書いてみましょう。

はじめて読む人に分かるように、あらすじを紹介する本の帯を作りましょう。

印象に残った人物の言葉を取り上げ、その人物の紹介文を書きましょう。 など